

豪雨災害被災者のみなさまへ

豪雨災害被災者に対する支援策について【平成22年7月豪雨】

7月13日から数日続いた豪雨で、町内でもがけ崩れなどの災害が発生しています。

福智町には「災害復旧応急事業」という支援制度があり、今回の豪雨災害で「農地が被害にあった場合」と「宅地内に土砂が入った場合」は、申請と手続きにより、次のとおり補助金が交付されます。くわしくは役場総務課庶務係(☎22-0555)までお問い合わせください。

また、一般の水災害保険などの給付を受ける場合は、罹災証明書が必要な場合があります。罹災証明書の請求は、役場本庁舎3階の総務課窓口まで直接お越しください。

1. 補助金交付の対象および適用範囲

- ① 農地が被害にあった場合
 - … 応急工事費(限度額 300,000 円)の60%を補助
 - ② 宅地内に土砂が入った場合
 - … 土砂の撤去にかかる応急工事費全額を補助(町の設計に基づく)
- ※ 上記の被害については、町が現地を調査し被害が確認できた箇所、応急事業を実際にされる世帯が対象となります。応急工事費は、町が現地を調査確認し決定します。

2. 申請について

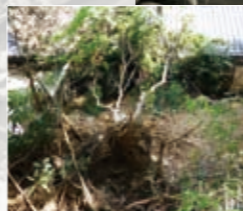
補助の適用を希望される人は「補助金交付申請書」の提出が必要となります。なお、申請書の最終提出期限は12月28日です。

3. 問い合わせ先

宅地流入土被害については ☎ 役場総務課庶務係 ☎22-0555
 農地などの被害については ☎ 役場建設課維持係 ☎22-7765

■ 福智町災害復旧応急事業

「福智町災害復旧応急事業費補助金交付要綱」は、災害発生に際し、応急的に必要な事業を実施される世帯に対し、定められた基準に従い補助金の交付を行い、被災者の保護と生活の安定を図ることを目的とします。補助の対象となる事業は、激甚災害の適用を受けた場合またはそれに準じる被害が生じた場合で、国および県の補助対象とならない事業のうち町長が認めたものとします。



※写真は昨年と今年の豪雨による被害の一部です。

福智の風

▶ 義務である国勢調査を誰もが不快になることなく、円滑に進められるかどうかは、調査員とみなさん互いの少しの心掛け、思いやり次第だと思います。合併後はじめて町の実態を把握できる今回の調査。社会が大きく変化し続ける混沌とした現代にこそ、揺るがぬ指標が必要です。みなさんのご理解をお願いいたします。(日吉)

▶ P21 掲載の「上弁城六夜待」に今回取材のため初参加。多彩な演目が用意されたこの行事は、観客に笑いや感動を与える内容で、自身も取材を忘れるほど見入ってしまいました。町の職員となって4年目。まだまだ知らないことがたくさんあります。今回のこともあり、より積極的に現場に行きたいと思いました。(久原)

写真が語る 福智の 写真館

金田本町通りの三輪車
 撮影者 ● 香月 久幸さん
 撮影日 ● 昭和30年代

当時、大村昆さんのCMで話題となったダイハツ・ミゼットは全長約3m、総排気量305ccの2人乗り三輪車。香月さんが所持していたこの車は、金田本町通りの人目を引きつけました。

昔の写真を探しています！
 岡 総務課広報・広聴係
 ☎22-0555

隣保館句会・みのり句会 池田一步選

切り取るや西瓜ほのかに日の匂ふ
 七夕のしだれリングの極やかに
 客寄せの声はみ出して夜店かな
 塩辛き涙に似たる汗の出で
 煩惱を払う如くに揚花火
 父植ゑし枇杷の色付く頃には早
 両岸に夜店の明り揚花火
 空蟬に残る力といふがあり
 洗ひ髪娘の襟足の白きこと
 うた、寝の風鈴の音に寝落ちけり

小笠原雄子
 久松ミサオ
 小場 妙子
 丸山 鈴子
 吉田 弘
 宇野八重子
 千手 弘子
 大久保幸子
 森 玲子
 有川 信子

福智町金田公民館俳句教室 岩井鬼童選

仏堂の床下を借り蟻地獄
 キヤベツ切る音の弾みて今日始まる
 木曾節は男唄なり灯涼し
 涼しさを呼ぶ辛抱の水車かな
 カルストに風の起伏や雲の峰
 かたつむり女の角は隠すべし
 叱られて上目使ひに梅雨の犬
 早起きの朝のしあはせ茗荷の子
 亡き夫に手合はす日々や百日草
 凭り掛かる人欲しきかな夜の秋

松岡 蔦枝
 建部三由紀
 日比生利子
 長副美恵子
 今井三千代
 仲谷ひろえ
 家高 恭子
 山口みち子
 高山 玲子
 花石かほる

方城句会 池田一步選

石畳松葉牡丹の際やかに
 境内の朝日に凜と白蓮
 蜩の木霊してをり杜深し
 忍び寄る蚊の鳴く声に構へけり
 浦安の雅楽に合はせ蟬の声
 田水沸く季語の体感する手先
 帰省子の賑はひ残し帰りけり
 山里を包み込みたる蟬しぐれ
 地図を手に幻の如那智の滝
 外出のちよつと気取ってサングラス

朝部さよ子
 尾崎 和子
 木村 誠一
 倉石嘉代子
 白石 凡子
 杉 フジエ
 長尾 冨子
 野村 鈴子
 藤井耿之介
 渡邊 一枝

四季の歌

心映の投句
 俳句・短歌教室の詠歌紹介

一個づつ策に並べて干す梅に指を染めつつ今年も安堵す
 すだれごしに吹きくる風のひんやりとうたた寝のわれを夢へいざなふ
 故郷の墓前にぬかづく老いし姉云母かとまがふ後姿見せて
 久方の恵みの雨に草も木も道行く人も潤いてをり
 梅雨末期の大雨降りて暮るる川ネオンを映す濁流速し

三村 和子
 白石 信子
 加治 智子
 越智 早苗
 福田 昌

ともしび短歌会短歌詠草